直方の歴史と文化

随専寺の俳人の墓碑

文 榊 正澄

第 44 回

随専寺について

山部の随専寺（浄土宗）は古くは「瑞泉寺」と書きました。周辺一帯の旧町名が「泉町」であるように、湧水の豊富なところでした。

明治初期まで寺の周囲は蓮池であり、池の小島に弁天堂が浮かぶ風光明媚な景色で寺の山号が「池上山」であるのはこれに因みます。

東京の上野公園の不忍池に弁天堂が浮かぶのと同じ光景が直方にもあったことになりますが、現在の弁天堂は山門の前に移されています。

諸九尼・浮風の比翼塚

多賀神社の境内にある俳人夫妻の諸九尼（1714～81）と、浮風（1702～62）の比翼句碑については第32号（平成29年11月号）で紹介しましたが、この二人の墓は随専寺の本堂裏の墓地の一番奥にあり、連名の比翼塚となっています。

湖白庵浮風・諸九の比翼塚

諸九の生い立ち

諸九（本名・なみ）は筑後国竹野郡唐島村（久留米藩領。現在は浮羽郡田主丸町から久留米市に）で代々庄屋を務める永松家の五女として生まれました。

近郷の庄屋永松家に嫁ぎましたが子どもは生まれませんでした。

有井浮風の生い立ち

有井浮風（幼名・新之助、のち軍治義保）は筑前国直方の藩士有井十蔵の子として生まれました。

有井十蔵の屋敷は、直方市中央公民館2階の郷土資料室に展示されている「直方惣郭図」の中に描かれています。

冒頭に書いた随専寺の南側、弁天堂のある池に面しており、浮風にとってなじみ深い景色でした。新之助は文武両道に優れて神童と呼ばれ、四代藩主黒田長清の側近として仕えました。

15歳で松尾芭蕉の高弟志田野坡に入門し俳諧の道に進みましたが、やがて病気になり28歳のとき武士を辞め、各地を回って俳諧の指導に当たるようになりました。

筑後国の竹野郡塩足村を訪れた際に浮風（39歳）となみ（27歳）は出会います。

その後の二人

のちに二人は夫婦になって大坂や京都で俳諧の指導者となり、諸九は浮風没後、夫の故郷に住みました。

一法・慈法の比翼塚

浮風・諸九の比翼塚の横にあります。一法は浮風の甥、慈法は夫妻の養女、二人は夫婦で共に俳人でした。

一法亡き後、慈法は山部の草庵の湖白庵で諸九尼と寝食を共にし、俳諧の杖となって最期を看取りました。

一法・慈法の比翼塚

文化財に関する問い合わせ
文化・スポーツ推進課社会教育係（TEL 25－2326）

編集後記

11月2日～4日に開催される「『お』」のつくのおがた秋祭り」。4日の「産業まつり」で登場するという世界最大クラスの巨大たい焼きや、たくさんの出店に期待大。体重は増加の一途をたどりそうです。（N）

人の動き

■人口　56,871人（－331）　■世帯数　27,059世帯（＋150）
〔うち外国人497人〕
男　26,828人（－117）
女　30,043人（－214）
全て平成30年9月末現在
（　）は前年同月との比較

UD FONT

◆発行…直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL　http://www.city.nogata.fukuoka.jp/
◆発行日…毎月1日、15日（月2回）
◆編集…企画経営課ふるさと情報係
TEL (0949)25-2236 / FAX (0949) 24-3812
E-MAIL　n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
◆印刷・制作…大成印刷株式会社

携帯電話向け情報提供サービス

直方市ホームページ
市の情報がもりだくさん

情報メール「つながるのおがた」
緊急情報、イベント情報など

直方市インスタグラム
さあ、あなたもフォロー！

直方市バーチャルミュージアム
直方の文化を隅々まで